

支援の第一歩について学ぶ

昨年度は相談の基本であるアセスメントについて、基礎から事例検討までを3回に分けて学びました。今年度は次のステップである”支援法の一つである介入”について、渡部律子先生にお話をお願いしました。

渡部先生より

支援に携わっていると、「困っている人の役に立ちたい」と思いながらも、相手の方の特性、抱えている問題、によって何をどこまで支援できるかで悩むことは良くあります。対人援助には①問題の違いに関わらず守るべきプロセスやルール、とともに、②問題特性によって有用だとされている支援法(介入法とも呼ばれている)があります。本研修では、皆さんの支援の質向上を目指し、これら2つがご自分の実践現場でどのように応用できるかを考える機会にしたいと思っています。

【講師】

日本女子大学 名誉教授
渡部 律子 先生



2025年 **7月21日** (月・祝日) 13:00~15:00

【開催方法】会場参加とオンライン参加(ZOOM)のハイブリッド方式
(講師は会場にて講演予定)

【対 象】

- ①民間相談機関連絡協議会 会員
- ②区市町村社会福祉協議会、
ボランティア・市民活動センターのスタッフ
- ③公的相談機関スタッフ
(福祉事務所・保健所・保健福祉センター等)
- ④民間相談機関・団体のスタッフ
- ⑤その他、参加をご希望の方

【参加費】

会員 無料
一般 1,000円
(オンライン参加の場合は要事前振込)

【会 場】

飯田橋セントラルプラザ10階会議室
(〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1)
・JR総武線「飯田橋駅」西口より徒歩3分
・地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線
「飯田橋駅」B2b出口直結



【主催】民間相談機関連絡協議会

■ 講師プロフィール

【経歴】

1953年大阪府生まれ。1978年関西学院大学大学院修士課程修了。1982年に米国ミシガン大学大学院に留学し、社会福祉学修士(MSW)、心理学修士、哲学博士(Ph.D.専攻:社会福祉学・心理学)取得。日米両国で臨床実践。ニューヨーク州立大学バッファロー校、シカゴ大学社会福祉系大学院で教鞭をとる。ソーシャルワーク援助理論・技法、調査法・研究法、老年学を教えるとともに、老年学専攻の修士学生の実習指導及び論文指導を行う。元関西学院大学総合政策学部教授。元日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授。

【著書】

『基礎から学ぶ気づきの事例検討会』、『「人間行動理解」で磨くケアマネジメント実践力』、『高齢者援助における相談面接の理論と実際』、『福祉専門職のための 統合的・多面的、アセスメント』など他多数。

■ 民間相談機関連絡協議会について

都内で相談活動を行なっている民間相談機関・団体によって1997（平成9）年に設立されました。

地域において相談活動を行う民間の機関・団体は多数存在し、その行う領域は多岐に渡っています。しかし、近年の社会経済状況の変動にともない、寄せられる相談内容も多様化・複雑化しつつあります。各々の相談機関だけでは解決できないケースも増えてきており、ほかの機関・団体との連携した取り組みが必要となっています。そこで、都内に所在し、相談活動を行っている民間相談機関・団体を中心に、協力・連携し、学び合い、支え合える場づくりを目的にネットワークとして活動しています。

■ 申込方法

民間相談機関連絡協議会ホームページよりお申し込みください。

*申し込み締め切り 7月16日（水）

*オンライン参加申し込みの場合

参加申し込みをいただいた後、参加費の振込先をメールにてお伝えします。

お振込みを確認後、ZOOM ミーティングID とパスワード、講演会資料をメールにてお送りします。



民間相談機関
連絡協議会HP

■ 事前アンケート

以下の項目について、申し込みフォームからご回答いただきます。

問1：ご所属のところでは、どのような活動をしていらっしゃいますか？（複数選択可）

- ①情報提供 ②心理相談 ③他機関への紹介（話を聞いて他の専門家を紹介する）
④自助グループ等の運営 ⑤その他（詳細： ）

問2：相談者から相談を受ける際に、必ず聞いている情報は決まっていますか？

- ①決まっている ②特に決まっていない

問3：相談活動で一番大変なことはどのようなことでしょうか？

■ お問い合わせ

民間相談機関連絡協議会

メール info@minsouren.org

H P https://www.minsouren.org/

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センターメールボックス 60番

FAX 03-3235-0050